

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	9	契約時より契約解除については、十分に理解を得て同意を得る事が大切だが、その分かりやすい書面の作成が出来ていない	契約時に、契約解除の分かりやすい説明を行い、同意を得る。	・分かりやすい説明文を作成し、同意を得られる説明を行う。	3ヶ月
2	20	家族との関係継続は出来ているが、家族だけではなく、馴染みの人や場所との関係継続の為の取り組みが必要	・個別支援として、ご家族の同意と協力を得て実施していく。	・ケースの担当者を中心に、バックグラウンドを掘り下げ、在宅時に関係のあった、人や場を抽出し、その関係継続のために個別の支援を行っていく	12ヶ月
3	6	毎年定期的に施設内研修で身体拘束や人権擁護についての研修は行っているが、実際に起こり得る事例を上げて検討する等、身体拘束をしないケアの実践が、より徹底できる取り組みが必要である。	・事例を挙げた施設内研修を実施し、全職員の周知徹底に努める	・平成23年度に置ける施設内研修にて、人権擁護の研修を行い、職員の積極的参加を促し、更に毎月の職員会議及び朝の申し送りに置いて、周知徹底を図り、実践していく。	12ヶ月
4	4	定期的な運営推進会議を開催し、事業所の活動状況や利用状況などを報告し、意見・要望を聞き、意見交換を行っているが、事業所が取り組んでいる内容についての意見や提案を広く募る事が出来ていない	・事業所としての取り組みを説明し、積極的な意見や提案の引き出しに努める	・第三者評価の評価結果を、運営推進会議にて配布し、事業所の取り組んでいる事や、問題点・課題について、積極的な意見や提案などを頂ける様努める。	12ヶ月
5	23	ご利用者のコミュニケーション能力に合わせ、会話の中や、表情・目つき・視線などから、その人の思いや意向を把握する事に努めているが、状況の変化を見逃さない為にも、データの蓄積が必要	・個別ケアシートや日々の介護記録の充実を図り、そのデータの蓄積の様式を検討・作成する	・個別ケアシートの定期的な見直しと介護記録の充実を図り、そのデータの蓄積様式を考案していく	24ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。